

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年9月25日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年9月25日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【スラッジ建屋南西扉の施錠不良について】 現場パトロールにおいて、スラッジ建屋南西扉の施錠をしようとしたところ、鍵が閉ロック側に回らず抜けられない状態を確認。 一時的な応急処置として、チェーンと南京錠を用い扉の固縛を実施。 その後、当該施錠箇所の修理を行い、施錠の健全性を確認。	GⅢ	9月13日
2	【シールド収納倉庫内機械修理工事における負傷者発生について】 シールド収納倉庫内機械修理工事において、タービンシールドを台車の正しい位置に乗せ直す作業中に作業員が鋼材と足場パイプに左手親指を挟み負傷。 救急医療室にて、緊急搬送の必要があると診断されたため、救急車で搬送。 病院にて、「左手母指末節骨開放骨折」、全治6週間と診断。	GⅢ	9月19日
3	【H3タンクエリア架空線の損傷について】 タンク堰雨水移送ライン設置工事において、バックホー移動中にアームを架空線に接触させ、構内放送設備用ケーブル1本を切断。 応急処置として、ケーブル端末および防水処理を実施。 今後、原因調査および修理予定。 当該ケーブル本復旧までの緊急時の避難指示については、各工事の主管グループからのアナウンス、携帯電話(GPS)によるアナウンス、スピーカー車によるアナウンスを実施。	GⅢ	9月21日